

開講科目名 / Course	カウンセリング論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	関根 剛	
担当教員名 / Instructor	関根 剛	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>カウンセリングの基礎となる理論とコミュニケーションスキルを学び、実際の場面で適切なコミュニケーションができる基礎を作る。講義前半は、他者を理解するためのコミュニケーション・スキルについて解説するとともに、実践的にロールプレイを体験して、スキルを身につけていく。</p> <p>講義前半は、カウンセリングの考え方や複数の理論について解説し、様々な視点から人をとらえ、看護師として、いかにカウンセリングを利用することができるかについて解説をする。後半は、コミュニケーションスキルの解説とロールプレイを通じて実際的なスキルの獲得を目指す。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの基礎的なスキルを理解し、それぞれのスキルを説明することができる。 2. ロールプレイを行って、10分以上会話を継続し、5種類以上の相づち、5回以上の繰り返し、5回以上の開いた質問、1回以上の言い換えを行い、最後に要約をすることができることを目指す。 3. ロールプレイを通じて、自分のコミュニケーションの癖に気づいて、記述することができる。 4. カウンセリングの理論が看護場面でどのように役立つのか説明できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. カウンセリングの考え方 02. カウンセリングの理論1：来談者中心療法・ゲシュタルト療法 03. カウンセリングの理論2：認知療法・精神分析 04. 危機介入：トラウマとPTSD 05. コミュニケーションスキル1：相づち、繰り返し、質問、要約 06. ロールプレイ1：傾聴する 07. ロールプレイ2：相手の考えや感情をアセスメントする 08. コミュニケーションスキル2：言い換え、共感 09. ロールプレイ3：言い換えで細やかな理解をする、肯定的な表現に言い換える 10. ロールプレイ4：自分が体験したことがないことに共感する 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを通じて、コミュニケーションスキルを体験的に理解する。 ・理論の解説に終わらず、看護や実生活での実践につなげて考えられる機会とする。 ・前回の学習の疑問点などについて、回答をする時間を持つ。 ・毎回、簡単な小テストやミニレポートを行う。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルについて、実習などの経験から気づいたことのレポートを提出して、理論と体験を統合する機会を持つ（提出は任意） 	
評価方法と評価割合	毎回の知識確認テストやミニレポート6割、総合レポート4割	
テキスト	テキストは使用せず、毎回、ハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士、全国被害者支援ネットワーク理事
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	これまでのカウンセリングの実務、カウンセリングスキル教育の実践経験を通じて、看護学生に必要な行動変容に効果的な理論とスキルを教育する。	